

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和06年06月14日(水)

事務事業		深谷消防署資器材管理事業		担当課	深谷消防課	担当係	深谷消防署	管理番号	54121	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	消防法					
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		住民の生命、身体及び財産を守るために火災、救急、救助等の災害活動時や訓練時に使用する資器材の購入、更新、修繕及び保守点検を実施し、多種多様な災害現場に対応できるよう活動体制を整備するものである。								
目的 ※何のために		災害から住民の生命、身体及び財産を守るため。								
対象 ※誰・何を対象に		隊員が災害活動時または訓練時に使用する資器材等。								
手段 ※どのように		資器材の購入、更新、修繕及び保守点検を実施する。								
成果 ※何を求めるか		活動体制を整備し消防力の強化を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	9	消防費	1	消防費	1	常備消防費	深谷消防署資器材管理事業	12,245,042
本事業の 主な業務		・各種資器材の購入及び更新					・			
		・各種資器材の保守点検					・			
		・各種資器材の修繕					・			
		・災害対策に関する消耗品及び備品の整備					・			
		・					・			
		・					・			

## 2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		・空気ポンペ・消防ホース	・空気ポンペ・消防ホース	・空気ポンペ・消防ホース・潜水資器材	・空気ポンペ・消防ホース・潜水資器材		
事業費	予算(現額)	8,778,000	12,508,000	21,604,000	25,653,000		
	決算額	8,648,724	12,245,042	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	159,000	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	1,984,603	2,972,208	4,642,000	5,532,000	
		一般財源	6,664,121	9,113,834	16,962,000	20,121,000	
人件費	従事職員数(人)	1.00	0.80	1.00	1.00		
	人件費相当試算※	7,869,557.00	6,408,132.00	8,360,900.00	8,360,900.00		
総事業費試算		16,518,281	18,653,174	29,964,900	34,013,900		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	備品購入品目数	目標値	品目	4.00	4.00	9.00				
		実績値		3.00	4.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			消防資器材整備方針に基づく購入品目数とする。 / 備品購入品目数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	保守点検実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00				
		実績値		100.00	100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			呼吸・循環管理用資器材等の保守点検実施率 / 保守点検品目数／実施数×１００						
	実績値の算出式									
成果指標 1	資器材故障時における修繕率	目標値	%	100.00	100.00	100.00				
		実績値		100.00	100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			資器材の故障に対する１００％の修繕を目標とする。 / 修繕数／故障件数×１００						
	実績値の算出式									
成果指標 2	災害時における資器材作動率	目標値	%	100.00	100.00	100.00				
		実績値		100.00	100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			災害時における資器材１００％の作動を目標とする。 / 使用数／災害数×１００						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	各隊が使用する備品を計画どおりに購入し配備することができた。また、資器材の保守点検についても計画どおりに実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	故障等の使用不能になった資器材について、修繕や更新に伴う対応を適切に実施したことで、災害時における資器材の作動率100%を達成した。
			評価者 課長補佐兼管理係長 池田 忠勝

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	同一契約業務を持つ花園消防課と消耗品類等を一括契約することにより、事務の負担軽減や予算執行を効率的に実施することができた。また、救急消耗品の在庫についてはデータ管理をしているが、担当する救急隊員が直接手入力をしているため、在庫管理に時間を要していた。
			評価者 課長補佐兼管理係長 池田 忠勝

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	消耗品や各種資器材の購入に関して、輸送費や原材料費等の上昇により価格が高騰している。 このような状況を解消もしくは、軽減し、安定的な供給を確保するためには、同一内容の契約事務 について、引き続き一括契約などにより購入価格を抑制し、納期の安定を図る。
達成状況及び その効果	花園消防課と同一内容の契約事務については、一括契約などによって購入価格の抑制を図るこ とができた。また、納期の安定を図るため、発注時期を見直すことで消耗品を確保することがで きた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	深谷消防署資器材管理事業	担当課	深谷消防課	担当係	深谷消防署	管理番号	54121
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		各種災害現場や訓練等で必要とされる資器材の更新や保守点検を計画的 に実施し、万全な活動環境を整備、維持することができた。今後も引き続 き、各種資器材の能力が必要時に十分発揮できるようにしていく必要があ る。また、更なる物価高騰が見込まれ、消耗品等の確保に影響がでるほ か、車両の複合化によって資器材の更新時期を見直す必要がある。さら に、救急消耗品については、各救急隊が必要時に受領でき正確な在庫数の データ管理体制が必要である。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	深谷消防課長 小林 晃昌				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	昨今、更なる物価高騰が見込まれており、消耗品等における購入の際、一括購入をするなど価格の抑制を図る。また、消防車両の複合化等により、資器材の更新時期に変更が生じていることから、消防資器材整備方針を見直し、更新に係る消防費が吐出した予算編成とならぬよう予算の平準化を図る必要がある。さらに、救急消耗品を必要時にオンラインにて申請でき、正確なデータ管理ができる体制を構築する。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	管内における災害発生傾向や地域特性を含めた、必要とする資器材の計画的な更新や維持管理を推進していく。

8. 評価指標グラフ

